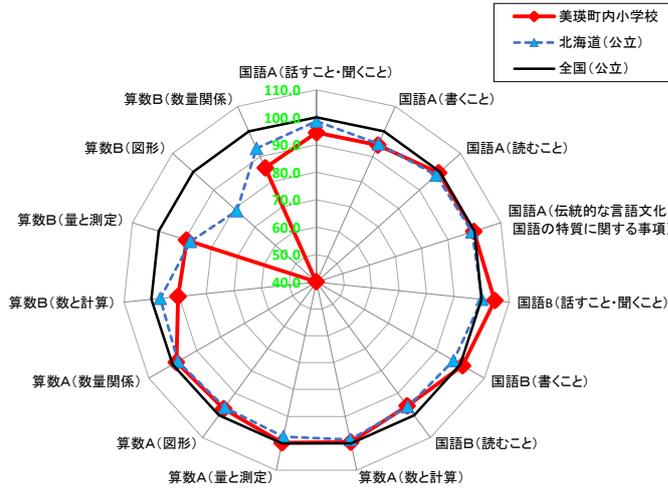


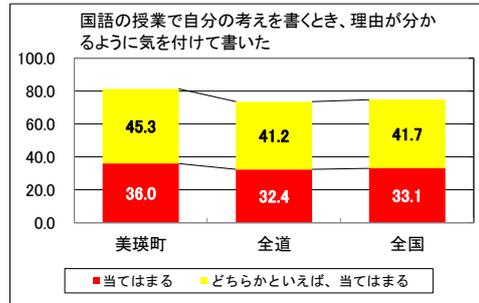
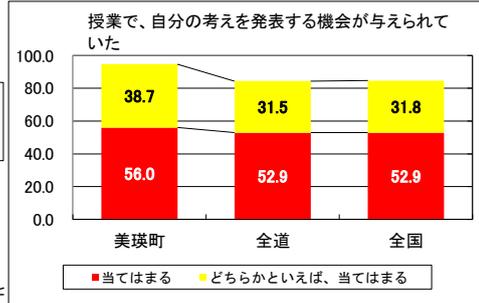
■美瑛町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:75人)

【教科全体の状況】

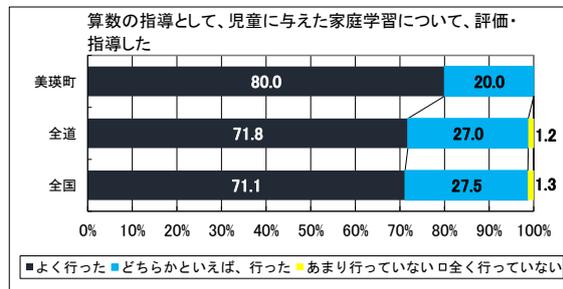
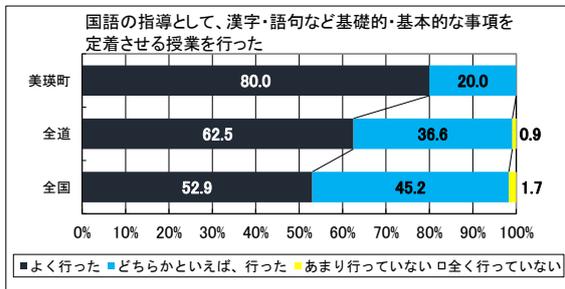
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近く、Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」、Bでは、「数と計算」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、理由が分かるように自分の考えを書いたり、発表したりする活動を計画的に行ったことにより、学習内容の定着が図られ、国語Bの「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で自分の考えを書くと、理由が分かるように気を付けて書いた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の授業において、基礎的・基本的な事項の定着に向けて取組を推進したことにより、国語Aの「読むこと」などで全国に近くなったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、児童に与えた家庭学習について、評価・指導した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導において、児童に与えた家庭学習の評価及び指導を継続的に行ったことなどにより、学習内容の定着につながったと考えられる。

【美瑛町の学力向上策】

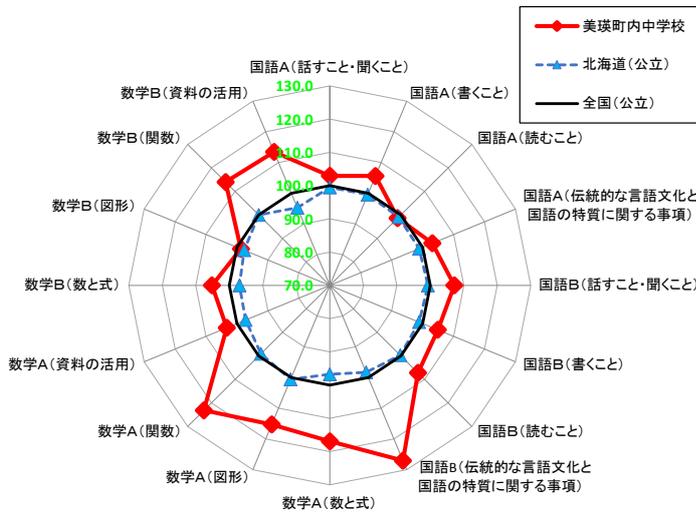
- ◎ 教育指導助手や特別支援教育専門員の配置による個に応じた指導の充実に向けた取組
- ◎ 「学習ルーム」の開設や「土曜学習」「通学合宿」の実施による児童の学習習慣の改善と基礎学力の定着を図る取組
- ◎ ICT機器の活用による児童の意欲的な学習を促進する取組

■美瑛町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:76人)

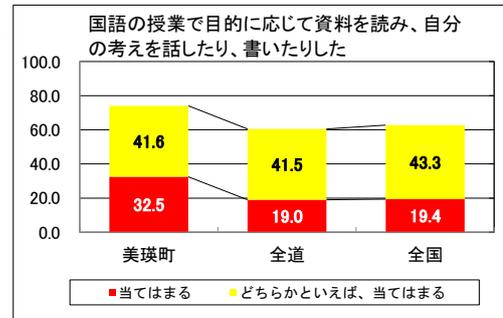
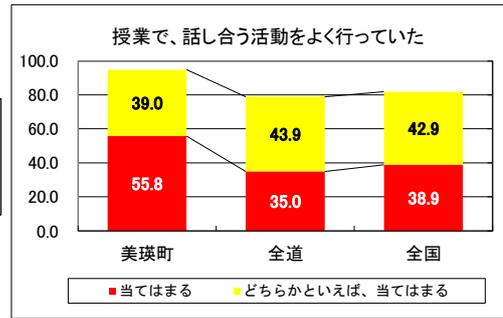
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

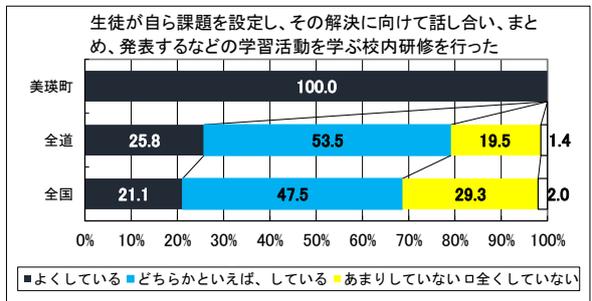
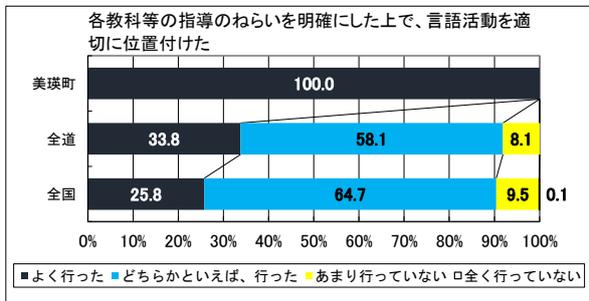
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、すべての領域で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、すべての領域、Bでは、「数と式」「関数」「資料の活用」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科の授業に言語活動を適切に位置付け、話し合う活動を通して考えを深める指導を行ったことにより、学習内容の定着が図られ、国語及び数学の14領域で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で、話し合う活動をよく行っていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりした」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の授業において、自分の考えを話したり、書いたりする活動を充実するなど、授業改善を図ったことにより、国語の7領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた」と回答している。 ○ すべての学校が、「生徒が自ら課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、発表するなどの学習活動を学ぶ校内研修をよく行った」と回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が自ら課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、発表するなどの学習活動の充実について、校内研修を行ったことにより、日常の授業改善が図られたと考えられる。

【美瑛町の学力向上策】

- ◎ 教育指導助手や特別支援教育専門員の配置による個に応じた指導の充実に向けた取組
- ◎ 長期休業中の学習サポートなどの実施による生徒の基礎学力の定着を図る取組
- ◎ ICT機器の活用による生徒の意欲的な学習を促進する取組